

2018年1月研究会（京都）

日 時：2018年1月13日（土曜日）16：30~18：00

会 場：同志社大学博遠館 H109 教室（今出川キャンパス）

講演者： 中田喜文（同志社大学政策学部教授）

演 題：「京都ものづくり企業における文化の伝承：老舗企業 300 社の事業と文化の継承」

司 会：八木 匡（やぎただし）氏（同志社大学経済学部教授）、林廣茂（本学会代表理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会、共 催：文化経済学会＜日本＞関西部会



講演要旨

京都に存在する多数の老舗企業が、日本文化の継承者としての機能を併せ持つ点について、注目した研究は存在しない。2013年に同志社大学技術・企業・国際競争力研究センターが実施した京都のものづくり企業調査に、約300社の老舗企業が含まれている。このような問題意識を持つ研究者にとっては理想的ともいえるデータである。本講演では、京都の老舗企業が、どのような経営体としてのメカニズムで、事業を長期に継続できたのか、また、その長期継続経営をサポートする基盤条件とは何かについて講演が行われた。講演後の質疑の中で、伝統文化および伝統工芸の伝承において、相続税制がどのような問題を引き起こしているかについて議論があったが、物的資産ではなく、人的な資産がビジネスの核になっている場合には、相続税制による問題は比較的少ないことが指摘された。また、企業規模についても、経済合理性から考えても、必ずしも規模拡大が長期的持続可能性を高める分けでは無いことが指摘された。

【研究会参加者】事業承継学会 23名、文化経済学会関係 12名。